

Dr.クマの“健康のヒント”



新型コロナ流行時の医療機関受診

新型コロナウイルス感染症は爆発的ではないが、まだまだ流行が続いている。現在、医師としての私が気になっているのは、患者さんの受診控えである。病院に行くと感染の可能性があると考え、受診を先延ばしにする、検診や予防接種を受けない、あるいは通院自体をやめてしまうといった方が明らかに増えている。外来受診率は全体で20%減っており、小児科では40%減ったと言われている。必要がない受診が減っただけならばいいが、必要があるのに先送りした結果、救急搬送された例や病状が進行してしまった例がかなりある。心筋梗塞、脳卒中などの危険因子である高血圧、糖尿病には基本的に自覚症状がないため、受診しなくとも自覚的に大きな変化

はなく、放置してしまいがちだ。しかし、危険性は確実にふくれあがっていく。診療を再開したとしても再びコントロールがつくまでに長い時間がかかってしまう。コロナ自体より害があるかもしれない。深刻な問題である。むろん医療機関の関係者は感染リスクを下げる努力を行っている。「みんなで安心マーク」はその一環であり、これを表示している医療機関は日本医師会の定めた感染対策を行っていることを示す。医療機関を受診する際には、このマークが1つの目安になるし、必要に応じて医療機関の対策を問い合わせることも自衛策であろう。

北里大学医学部 教授 熊谷 雄治

ねえ知ってる?!日本の国土のこと クイズにチャレンジ!

私達が住んでいる日本の国土はどのような特徴があるのでしょうか?

国土についてのクイズを出題します。クイズにお答えいただき、あわせて月刊「建設」の記事についての感想、実施してほしい企画の希望などをお寄せください。正解された方の中から選定のうえクオカード(500円分)を進呈致します。

問題

日本では台風や集中豪雨などによって、毎年のようにどこかで水害や土砂災害の被害にあっています。2008~2017年の10年間に10回以上の水害や土砂災害に襲われたことのある市町村はどれくらいあるのでしょうか?

1. 全市町村のうちの15%
2. 全市町村のうちの35%
3. 全市町村のうちの55%
4. 全市町村のうちの75%

※たくさんのご応募お待ちしております。
クイズの正解は次号にて発表します。
お楽しみに!!

地域活性化が勉強になったにゃ



10月号の答え
4. の10個上陸した
でした。

(協力: 一般財団法人国土技術研究センター)

1. 応募締切
月刊「建設」最新号到着からその当該月末日まで
2. 解答方法
右下のQRコードをご利用いただくか、全建HPの「ねえ知ってる?!日本の国土のことクイズにチャレンジ!」のパナーをクリックし、解答してください。なお、**ご意見・ご感想・お名前**をご記入下さい。
※タブレットPC、スマートフォンからも解答できますが、従来型の携帯電話からは解答できません。
※管理の都合上、下記問合せ先からのご応募は対応しかねますのでご遠慮ください。
3. 当選発表
当選された方にはメールでご連絡させていただきますが、当選者は**全建会員の方に**限定いたします。
4. 問合せ先
一般社団法人 全日本建設技術協会 事業課 峯脇・中嶋
TEL : 03-3585-4546 / E-mail : kensetsu@zenken.com

